

株主のみなさまへ



第94回 事業ご報告

平成21年3月21日●平成22年3月20日

株式会社 安川電機

(証券コード：6506)



平成22年3月21日付で、取締役社長に就任いたしました津田純嗣でございます。

株主のみなさまには、利島前社長同様、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社グループの当期の業績につきまして、概要をご報告申し上げます。

当期における経済は、一昨年秋からの金融危機の影響による世界同時不況に対する各国の景気対策による下支えに加え、中国をはじめとしたアジア等の高成長に支えられ、その最悪期を脱し、緩やかな回復傾向にあります。全般的には厳しい状況で推移いたしました。

このような状況に打ち勝つべく、当社グループは、以下の施策を実行してまいりました。

- ACサーボモータ・コントローラ、インバータ、産業用ロボット等の主力商品における、有望市場の開拓と既存市場でのシェア拡大
- トップ率先の営業促進や、潜在需要の大きな顧客への提案による受注確保
- 技術開発のスピードアップとシステム対応力強化による新商品の提案加速
- 有望市場である中国や新興国への拡販
- コストダウンの徹底・強化による圧倒的な価格競争力の実現と効率的な生産体制確立

経済環境の緩やかな改善及び上記施策の実行もあり、受注面では、当期後半になりモーションコントロールセグメントを中心に、中国・アジア市場向けが回復し、国内市場向けも

緩やかに回復してきておりますが、世界同時不況の影響は大きく、売上は大幅な減収を余儀なくされました。

また、損益面では、コストダウンの徹底・強化や経費の大幅な削減に努めましたが、売上の減少の影響が大きく赤字となりました。

この結果、売上高2,247億10百万円(前期比35.8%減)、営業損失69億77百万円(同277億83百万円減)、経常損失60億49百万円(同260億73百万円減)、当期純損失56億99百万円(同125億92百万円減)となりました。

当社グループでは、事業内容を5つのセグメントに分けております。

当期の各セグメント別の業績動向はつぎのとおりです。

セグメント別の業績

セグメントの名称	売上高(前期比)	営業損益(前期比)
モーションコントロール	1,048億14百万円 (34.8%減)	△31億69百万円 (149億25百万円減)
ロボット	570億84百万円 (50.0%減)	△83億27百万円 (115億28百万円減)
システムエンジニアリング	414億98百万円 (11.3%減)	54億76百万円 (8億39百万円増)
情報	155億46百万円 (27.2%減)	△9億34百万円 (15億51百万円減)
その他	57億65百万円 (19.6%減)	△74百万円 (6億63百万円減)

なお、当社個別業績につきましては、売上高1,202億63百万円(前期比36.1%減)、営業損失111億32百万円(同137億92百万円減)、経常損失74億60百万円(同172億41百万円減)、当期純損失49億47百万円(同114億18百万円減)となりました。

このような業績及び財務状況を勘案し、期末配当につきましては、安定的な配当を重視して、1株につき1円50銭とし、先の1株につき1円50銭の中間配当とあわせ、年間で1株につき3円とさせていただきます。

今年度(平成22年度)は、中国・アジア及び新興国を牽引役として、総じて緩やかな回復基調にあるものの、先行きが不透明な中、予断を許さない状況にあり、また、為替動向が流動的なことなど、当面、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続くものと考えております。

しかし、最悪期は脱しており、当社グループは、新たな成長戦略のもと一丸となって、反転攻勢に出ることにより業績回復に努める所存です。

平成21年度からスタートした中期経営計画“Challenge100”では、厳しい経営環境を前提としながらも、持続的成長の実現に向けて、新しい価値・市場の創造への挑戦を掲げ、以下を基本方針としております。

- より使いやすく、より人に近い領域へ、人と共存するロボット市場を創造する。
- グリーンエネルギー分野で、最適エネルギー変換技術により新しい価値を創造する。
- 既存事業は徹底した効率化と市場対応力強化で、悪環境に打ち勝つ。

2年目にあたる今年度は、以下の施策を実行してまいります。

- 成長著しい中国・アジア、新興国市場への拡販加速
成長市場である、中国をはじめとするアジア市場での市場戦略強化、現地ニーズに適合した商品開発により、拡販を加速いたします。また、グローバル生産及びサービス体制の拡充を図ります。
- 環境エネルギー分野の事業拡大
太陽光・風力発電装置用電機品、自動車等電気駆動システム等、新しい領域での市場創出・事業拡大を加速いたします。
- 徹底的なコストダウンの継続
絶え間ない、また、即効性のあるコストダウンの実行と、効率的な経費運用を徹底してまいります。

さらに、今年度から、企業の基礎体力である「開発力」、「生産力」、「販売力」が、持続的かつ着実に向上し続けるための、以下の活動を強化いたします。

- 競争力のある新商品を市場投入し続けるための、開発体制と商品体系への転換
- 常に品質と効率が共に向上し続けるための、設計、調達、生産、販売、サービスといった全ての業務の最適化
- 世界規模で、新たな市場・顧客への販売を加速し続ける仕組みづくり

これらの活動を通じて、さらに進化する体質を実現させることで、新たな市場環境の中でも成長し続ける当社グループを構築してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

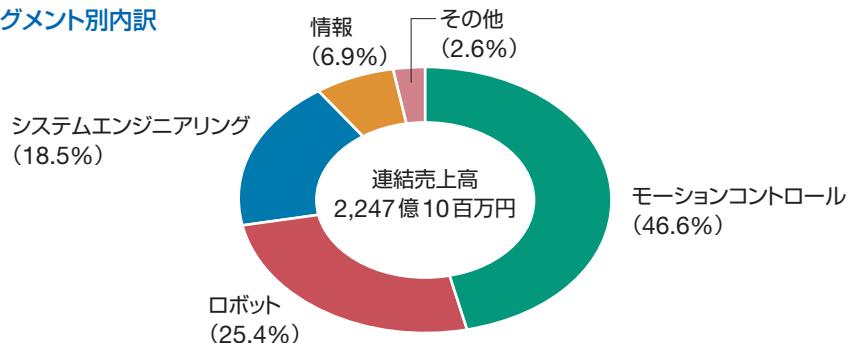
取締役社長



業績の推移

■ 連結売上高のセグメント別内訳

(平成21年度)



■ 売上高(連結)

単位: 億円



■ 売上高(個別)

単位: 億円



■ 経常利益(連結)

単位: 億円



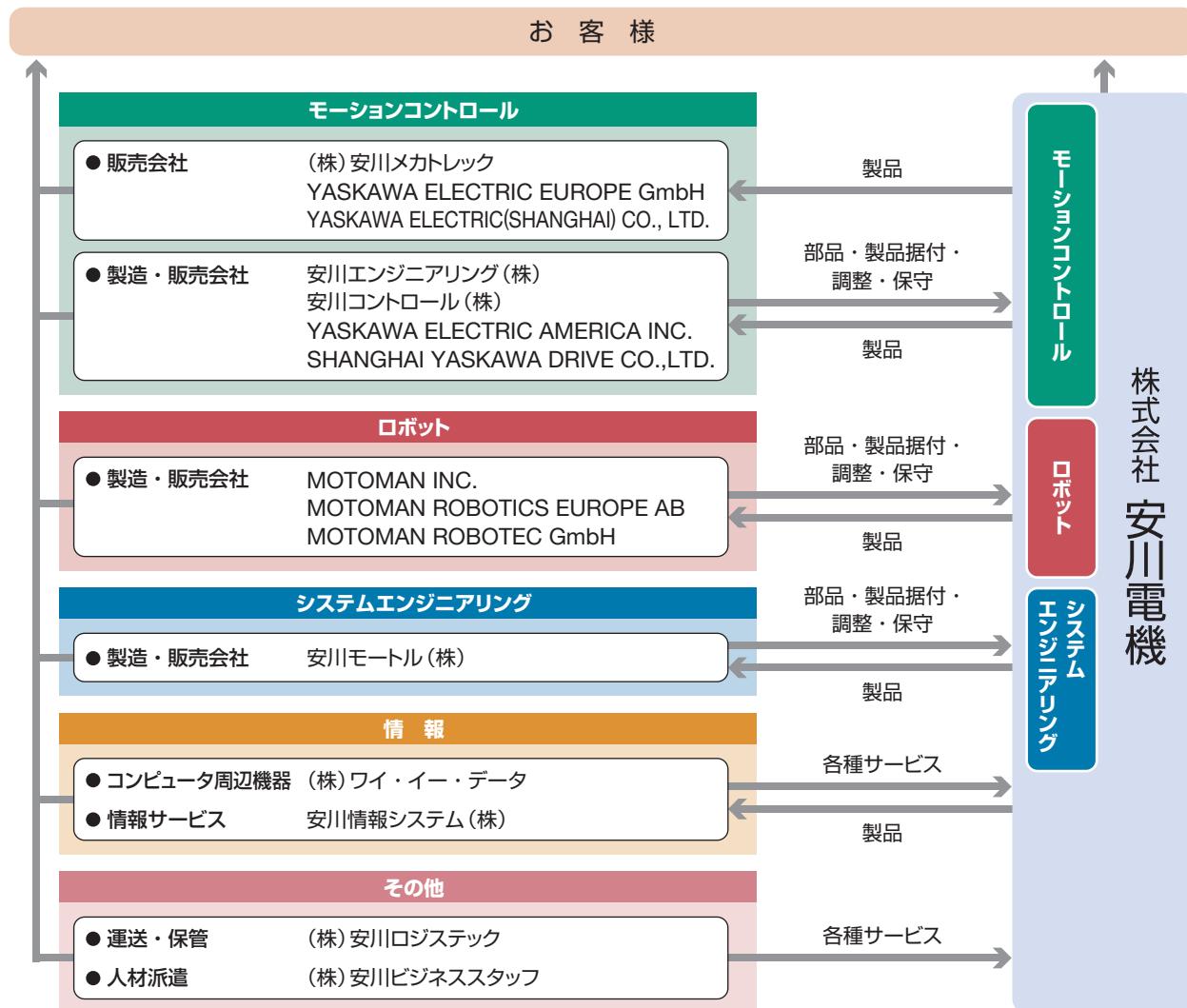
■ 経常利益(個別)

単位: 億円



当社グループの状況

当社グループは、当社を中核として子会社79社及び関連会社20社（平成22年3月20日現在）により構成され、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」「情報」「その他」の各部門の様々な分野において、製造、販売、据付、保守、エンジニアリング等の事業展開を行っております。



(注) 上記の会社は全て連結子会社であり、主要な会社のみ表示しています。
株式会社 ワイ・イー・データ及び安川情報システム株式会社の2社は東京証券取引所第二部に上場しています。

モーションコントロール

主要顧客の設備投資の抑制、在庫調整の影響を受け、前期比で大幅な減収・減益となりました。需要動向面では、ACサーボモータ・コントローラは、期前半は低水準でしたが、後半に至り、半導体業界・電子部品業界向け及び中国・アジア向けで回復してきております。また、インバータも、いち早く回復を示した中国をはじめ、アジア・米国も回復基調にあります。

主要製品

- ACサーボモータ・制御装置
- 汎用インバータ
- 工作機械用AC主軸モータ・制御装置
- リニアモータ・制御装置
- DCサーボモータ・制御装置
- 高速モータ
- 小形精密モータ
- 複合モータ
- 高効率モータ・インバータ
- 高周波インバータ
- マトリクスコンバータ
- マシンコントローラ
- ビジョンシステム
- その他



ロボット

主要顧客の設備投資動向が総じて低調に推移したことにより、前期比で大幅な減収・減益となりました。需要動向面では、自動車業界向けを中心とする溶接、ハンドリングロボット等は、中国・アジア等の地域で投資の動きがみられるものの、国内での設備投資の動きが鈍く、全体としては低水準に止まっています。また、液晶業界向け、半導体業界向けもアジア市場を中心に回復基調にはありますが低水準に推移いたしました。

主要製品

- アーク溶接ロボット
- スポット溶接ロボット
- 塗装ロボット
- ハンドリングロボット
- 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット
- 特殊アクチュエータ
- クリーン・真空内搬送システム
- ロボット応用FAシステム
- 医療・福祉サービスロボット
- その他



システムエンジニアリング

鉄鋼業界向けが堅調を持続し、引き続き、徹底したコスト管理が奏功したことにより、利益は前期に続き拡大いたしました。

主要製品

- 鉄鋼プラント用電機システム
- 上下水道用電気計装システム
- 道路設備電源システム
- 港湾荷役用クレーン制御システム
- 紙・フィルム・繊維製造装置・印刷機械用可変速ドライブシステム
- システム情報制御機器
- 中大容量高圧インバータ
- 中大容量高圧マトリクスコンバータ
- 高圧開閉装置
- コントロールセンタ
- システム用制御盤
- 電力用配電機器
- 永久磁石内蔵形回転機
- 中大形誘導電動機
- 中形発電機及び発電装置
- その他産業用回転機
- その他



情報・その他

情報セグメントは、企業の収益状況が低調な中、情報関連設備投資も抑制されており、需要低迷により前期比で減収・減益となりました。

その他セグメントには、物流サービス、人材派遣等の事業が含まれております。

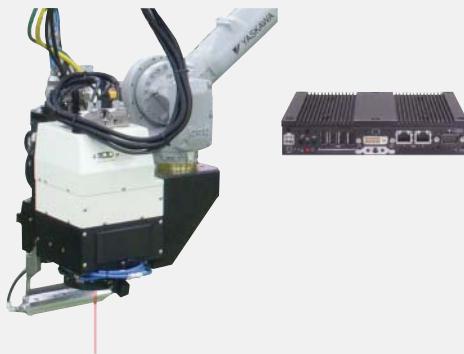
主要製品

情報

- ガルバノスキャナシステム
- フォトキオスク端末
- データ復旧サービス
- マルチカードリーダー
- 情報処理ソフト及びサービス
- OA機器
- その他

その他

- 物流サービス
- 人材派遣
- その他



新世代ロボットに新ラインアップ

小形双腕ロボット

MOTOMAN-SDA5D

人間に近い形や動きをする新世代ロボットに、新たに5kg可搬／アームの小形双腕ロボットMOTOMAN-SDA5Dが加わりました。小物部品の組立て・搬送用途において、よりコンパクトな生産システムを構築することができます。今後も、ヒューマンスキルに近い新世代ロボットを活用した自動化ソリューションをご提案し、新たなロボット適用分野を創出してまいります。

主な用途

- 製造業における組立て
(ねじ締め、部品組付け・挿入作業、部品搬送)
- 物流プロセスにおける搬送
(各種部材の工程間・工程内搬送、工程前配膳)



サービス分野への適用も視野に移動ロボットを市場投入

自律走行可能な移動ロボット

RoboPorter (ロボポータ)

生産ラインの各工程の部品/パレットや完成品などのワーク(加工対象)搬送に適用可能な移動ロボットRoboPorterの販売を開始いたしました。生産ラインに点在するロボットを線で結び、当社ロボットと組み合わせることで、ロボットによる自動化を拡大することができます。製造分野だけでなく、人手不足が深刻化するサービス分野への適用も視野に入れて事業拡大を図ってまいります。

主な用途

- 組立工場でのセル内部部品供給
- 物流倉庫での物品仕分け
- オフィスビルでの社内便配送



ピッキング・パッキング・パレタイジングの トータルソリューションをご提供

小物製品搬送用ロボット

MOTOMAN-MPK/MPL

食品・薬品・化粧品などの小物製品の搬送分野では、多くの人手が必要とされています。これらの製品単体の箱詰め(ピッキング)から、輸送単位での箱詰め(パッキング)・箱積み(パレタイジング)の自動化を実現するために、各工程で必要とされる搬送ロボットMOTOMAN-MPK/MPLを商品化いたしました。豊富なラインアップにより、食品・薬品・化粧品・一般産業分野において、最適な物流自動化搬送システムをご提供してまいります。

主な用途

- 食品・薬品・化粧品等の箱詰め・箱積み・搬送



パッキングロボット
MOTOMAN-MPK50

パレタイジングロボット
MOTOMAN-MPL160

ピッキングロボット
MOTOMAN-MPK2

高速モーションネットワークMECHATROLINK-III対応

ボードタイプマシンコントローラ

MP2101T

従来のボードタイプマシンコントローラMP2100の性能・機能を強化したMP2101Tを発売いたしました。MP2101TはCPUの高速化による性能向上とともに、オープンモーションネットワークMECHATROLINK-IIIにも対応しているため、柔軟なシステム構築が可能となります。豊富なモーションAPI(アプリケーションプログラムミングインターフェイス)とMECHATROLINK-III対応のACサーボドライブレールシリーズとの組合せを強みに、拡販を強化してまいります。

主な用途

- 半導体製造装置
スクリーン印刷機、液晶検査装置
- 食品包装機
ラベリングマシン、充填機
- ロボット
取り出しロボット
- 電子部品組立て機
ICハンドラ、インサータ
- 金属加工機
パネ製造機、サーボプレス
- 印刷機械
オフセット印刷機、グラビア印刷機



システムインバータFSDrive-LV1Hシリーズに 大容量機種をラインアップ

大容量低圧システムインバータ装置

FSDrive-LV1HS

ご好評をいただいているシステムインバータFSDrive-LV1Hシリーズに、鉄鋼の圧延設備や港湾荷役設備等大形モータの駆動が可能な大容量低圧システムインバータ装置FSDrive-LV1HSを新たにラインアップいたしました。電源回生による省エネ、PLC搭載によるデータ処理能力の向上、保守・保全の合理化・省力化を容易にする構造やサポートツール、ネットワーク対応など、幅広いご要望にお応えしてまいります。

主な用途

- 鉄鋼の連続鋳造設備、冷延設備
- 荷役設備
- プロセスライン
- 港湾荷役設備

400V級 430kW～630kWの大容量ユニット型インバータをリリース

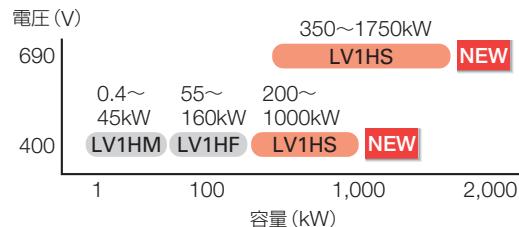
安川インバータ

A1000

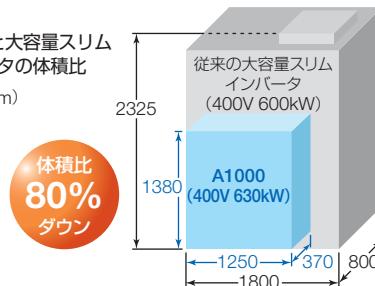
「最先端のモータドライブ技術」、「省エネ・耐環境性」、「コンパクト設計」等の特長でご好評をいただいている安川インバータA1000に、400V級 450 / 500 / 560 / 630kWの4容量を拡充いたしました。大容量でもスリム&コンパクトを実現し、耐環境性にも優れています。お客様の最適なシステム構築に向けて、A1000シリーズの新たな適用範囲を拡大してまいります。

主な用途

- ファン、ポンプ
- プレス
- コンプレッサ
- クレーン



A1000と大容量スリム
インバータの体積比
(単位: mm)



安川情報システム株式会社

プロキシ専用機「NetSHAKER ProxyBox」を使った文教向けセンターソリューション販売開始

プロキシ専用機である「NetSHAKER ProxyBox Ver.1.0 (以下ProxyBox)」を製品化し、センター集中管理サーバである「NetSHAKER NOTIFY Server Ver.2.0(以下NOTIFY Server)」との連携による新たなセンター型ソリューションを、各学校や教育センター、及び教育委員会を対象に2010年4月から販売開始しました。学校から教育センター、もしくは教育委員会を經由してインターネット接続するセンター集中型のネットワーク構成が増えていく中で、学校や関係施設等の拠点にプロキシ専用機としてProxyBoxを設置し、各拠点のProxyBoxの設定やアクセスログ集計等の集中管理が可能なNOTIFY Serverを上位に構成することにより、キャッシュ機能の分散型構成における各拠点のストレス軽減に加え、センター集中型のネットワークシステムを容易に構築することができます。

株式会社 ワイ・イー・データ

MIRAMOTION搭載ハイパワーレーザ対応スキャナヘッドを開発

オールデジタル式ガルバノスキャナ「MIRAMOTION」を搭載し、ハイパワーレーザの高速スキャンによる加工・溶接が可能なスキャナヘッドを開発しました。本スキャナヘッドは、多関節ロボットとの組合せで自在な角度から高速高精度でレーザをスキャンすることができます。今後ニーズの高まる自動車の車体溶接や金属の切断・穴あけ等の用途に拡販してまいります。



NetSHAKER
ProxyBox

NetSHAKER ProxyBox



ハイパワーレーザ対応スキャナヘッド

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表(平成22年3月20日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	162,036	流動負債	105,252
現金及び預金	16,430	支払手形及び買掛金	51,082
受取手形及び売掛金	81,024	短期借入金	31,830
たな卸資産	46,200	未払費用	15,796
繰延税金資産	6,505	役員賞与引当金	44
その他流動資産	13,426	その他流動負債	6,498
貸倒引当金	△1,550	固定負債	43,107
固定資産	79,612	長期借入金	10,405
有形固定資産	36,390	退職給付引当金	31,337
建物及び構築物	16,139	役員退職慰労引当金	278
機械装置及び運搬具	8,258	その他固定負債	1,085
土地	8,130	負債合計	148,359
その他有形固定資産	3,862	純資産の部	
無形固定資産	5,202	株主資本	92,871
ソフトウェア	4,147	資本金	23,062
その他無形固定資産	1,054	資本剰余金	18,682
投資その他の資産	38,019	利益剰余金	51,534
投資有価証券	16,428	自己株式	△407
長期貸付金	225	評価・換算差額等	△4,412
繰延税金資産	16,146	その他有価証券評価差額金	1,241
その他投資	5,709	繰延ヘッジ損益	△11
貸倒引当金	△489	為替換算調整勘定	△5,641
		少数株主持分	4,830
		純資産合計	93,289
資産合計	241,649	負債・純資産合計	241,649

連結損益計算書

(単位:百万円)

自平成21年3月21日 至平成22年3月20日	
売上高	224,710
売上原価	173,807
売上総利益	50,903
販売費及び一般管理費	57,880
営業損失	6,977
営業外収益	2,268
受取利息及び配当金	306
雑収入	1,962
営業外費用	1,341
支払利息	688
持分法による投資損失	2
為替差損	344
雑支出	305
経常損失	6,049
特別利益	49
固定資産売却益	49
特別損失	3,370
固定資産除売却損	159
投資有価証券評価損	31
たな卸資産評価損	2,138
減損損失	32
その他特別損失	1,008
税金等調整前当期純損失	9,370
法人税、住民税及び事業税	1,228
過年度法人税等	348
過年度未払法人税等戻入額	△139
法人税等調整額	△4,786
少数株主損失	△321
当期純損失	5,699

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

自平成21年3月21日 至平成22年3月20日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,035
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,466
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,015
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5
現金及び現金同等物の増減額	5,580
現金及び現金同等物の期首残高	10,629
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	87
現金及び現金同等物の期末残高	16,296

資産、負債及び純資産の状況

当期末における資産合計は、前期末比74億61百万円減の2,416億49百万円となりました。これは、たな卸資産並びに受取手形及び売掛金の減少等により、流動資産が前期末比70億36百万円減少したこと、及び固定資産が前期末比4億25百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前期末比16億70百万円増の1,483億59百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金等の減少等により、流動負債が前期末比26億95百万円減少

したこと、及び長期借入金の増加等により、固定負債が前期末比43億65百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前期末比91億31百万円減の932億89百万円となりました。これは、主に利益剰余金の減少等により株主資本が前期末比94億98百万円減少したことによるものです。

キャッシュ・フローの状況

当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末比56億67百万円増の162億96百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、40億35百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前当期純損失93億70百万円、減価償却費78億40百万円、売上債権の減少33億69百万円、たな卸資産の減少55億32百万円、仕入債務の減少27億80百万円等です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、64億66百万円の支出となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出48億66百万円等です。

この結果、営業活動と投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、24億30百万円の支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、80億15百万円の収入となりました。主な内訳は、短期借入金の増加42億9百万円、長期借入れによる収入103億10百万円、長期借入金の返済による支出43億61百万円、及び配当金の支払額20億15百万円等によるものです。

個別財務諸表(要約)

貸借対照表 (平成22年3月20日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	92,141	流動負債	64,932
現金及び預金	9,958	支払手形	3,596
受取手形	2,712	買掛金	33,494
売掛金	44,742	短期借入金	12,538
製品	10,859	未払金	881
半製品	500	未払費用	8,461
原材料	3,884	前受金	676
仕掛品	2,684	預り金	5,182
前渡金	47	その他流動負債	99
繰延税金資産	3,779	固定負債	33,098
未収金	1,382	長期借入金	9,592
未収法人税等	414	退職給付引当金	23,016
短期貸付金	3,869	その他固定負債	489
その他流動資産	8,669	負債合計	98,030
貸倒引当金	△ 1,363	純資産の部	
固定資産	72,102	株主資本	64,960
有形固定資産	22,181	資本金	23,062
建物	9,840	資本剰余金	18,493
構築物	585	資本準備金	18,491
機械装置	5,128	その他資本剰余金	2
車輜運搬具	26	利益剰余金	23,688
工具	641	その他利益剰余金	23,688
器具及び備品	365	繰越利益剰余金	23,688
土地	4,756	自己株式	△ 284
建設仮勘定	837	評価・換算差額等	1,252
無形固定資産	4,674	その他有価証券評価差額金	1,252
施設利用権	2		
ソフトウェア	3,832		
その他無形固定資産	839		
投資その他の資産	45,246		
投資有価証券	10,419		
関係会社株式	14,645		
出資金	1		
関係会社出資金	5,016		
長期貸付金	338		
繰延税金資産	13,686		
その他投資	1,569		
貸倒引当金	△ 431	純資産合計	66,212
資産合計	164,243	負債・純資産合計	164,243

損益計算書

(単位：百万円)

自平成21年3月21日 至平成22年3月20日	
売上高	120,263
売上原価	104,880
売上総利益	15,382
販売費及び一般管理費	26,514
営業損失	11,132
営業外収益	4,287
受取利息及び配当金	3,687
雑収入	600
営業外費用	616
支払利息	321
債権売却損	42
為替差損	197
雑支出	55
経常損失	7,460
特別利益	117
固定資産売却益	4
貸倒引当金戻入益	113
特別損失	2,207
固定資産除売却損	104
投資有価証券評価損	4
関係会社株式評価損	99
たな卸資産評価損	1,815
その他特別損失	182
税引前当期純損失	9,550
法人税、住民税及び事業税	129
過年度法人税等	348
法人税等調整額	△ 5,080
当期純損失	4,947

第94期(自平成21年3月21日 至平成22年3月20日)配当について

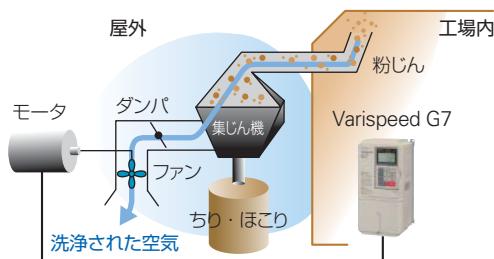
中間配当	1株につき	1円50銭
期末配当	1株につき	1円50銭
年間	1株につき	3円

中国・大連での実証試験で省エネを達成

「中国大連における工場インフラ設備のインバータ適用環境設備による省エネ推進実証事業」のプロジェクトに参加し、大連市に選定されたモデル工場で省エネ推進の実証試験を行いました。その結果、インバータ適用の環境を整えて実行すれば、比較的簡単・確実に省エネが達成でき、普及の可能性が高いことを実証しました。現在、大連市のモデル工場では、集じん機用のファン、汚水タンクのルーツブロワなどの風水力機械に安川インバータ Varispeed G7 が使用され、省エネに貢献しています。

■ 集じん機

集じん機は工場内の機械から漏れるオイルミストを吸引し、工場内を清潔に保つ装置です。ダンパ制御からインバータ制御に変更することで省エネ率 50.8% を実現しました。



省エネ効果

インバータ/モータ：75kW (400V) の条件下で
稼働時間：16時間/日

- 消費電力 削減量 **159,360 kWh** (年間)
- CO₂ 削減量 **88.4 t** (年間)

安川インバータが採用された理由

安全

“世界初”3レベル制御の適用で、サージ、ノイズ、漏れ電流を低減。

安心

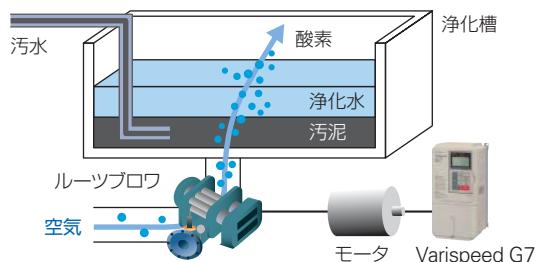
高信頼性、長寿命で安心。

高機能
高性能

制御でファンの流量を一定制御し、さらにアンダートルク検出でフィルタの目詰まりを検出。

■ ルーツブロワ

ルーツブロワは浄化槽に空気を送り、微生物による汚水処理を促進する機器です。インバータを使うことで適正な酸素濃度を保つとともに、大幅な省エネを実現しました。



省エネ効果

インバータ/モータ：90kW (400V) の条件下で
稼働時間：12時間/日

- 消費電力 削減量 **70,917 kWh** (年間)
- CO₂ 削減量 **39.4 t** (年間)

地球に優しいエネルギー変換技術 小形風力発電システム

建物の屋上を有効活用した発電システムの実用性を検証するため、インバータの生産工場であるドライブセンタ（福岡県行橋市）の屋上に九州大学が開発した風レンズ®風車による風力発電設備を設置しています。当社が長年培ってきたインバータ、IPMモータ、パワーコンディショナなどのドライブ技術を駆使し、グリーンエネルギー分野で新たな価値創造を目指しています。

■ システムの構成



風車

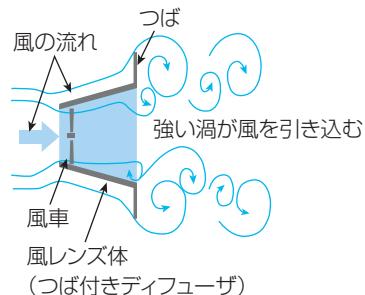
システムの特長

- 高効率発電
 - IPM発電機（永久磁石採用の交流発電機）による高効率発電。
 - センサレス出力電力最大化制御。
 - 強風時連続運転制御による稼働率向上。
 - 高効率蓄電技術による電力の安定供給。
- 安全・安心
 - ハイトルク・メカブレーキ制御、風速センサレス高速逸走回避制御、遠隔監視制御。
- 発電機と電力変換装置の組合せをシリーズ化。

風レンズ®風車の仕組み

一般に知られている風車は、プロペラ飛行機の羽根のように回ります。風レンズ®風車は、この羽根の周りに集風加速体と呼ばれる「つば付きディフューザ」を取り付け、発電出力を2~3倍に高めています。そのため、弱い風しか吹かない地域においても、安定した発電量が確保できると期待されています。

「風レンズ®」は（株）ウインドレンズの登録商標です。



発電装置



IPM 発電機

風車の回転エネルギーを電気エネルギーに変換します。

電力変換装置 (パワーコンディショナ)



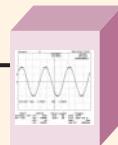
発電機制御コンバータ
(専用品)

発電機を制御して発電効率を最大にします。



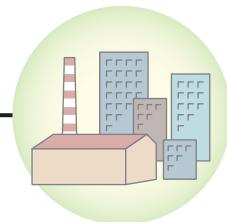
出力制御インバータ
(専用品)

発電した電力を所定の電圧・周波数に変換します。



出力フィルタ

出力電圧を歪みのない正弦波電圧に変換します。



過大発電保護装置 (オプション)

過大発電状態時にシステムを保護します。



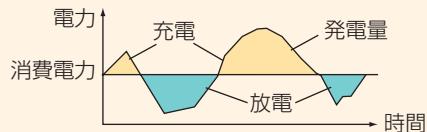
電力安定化用 充放電コンバータ (EDLC*対応)

EDLC*/LiB
(イメージ)

*EDLC : Electric Double Layer Capacitor (電気二重層キャパシタ) の略です。サイクル寿命が長く、急速充放電が可能な蓄電デバイスとして近年注目されています。また、人体や環境に有害な鉛や硫酸を含まないので、環境負荷低減にも貢献します。

電力平準化装置 (充放電装置、オプション)

電力平準化装置は当社が開発している充放電装置です。電力安定化用コンバータを使用し、風力発電などを利用した分散電源装置の出力電力を安定化します。また、EDLC*の広範囲な電圧変動にも対応しています。



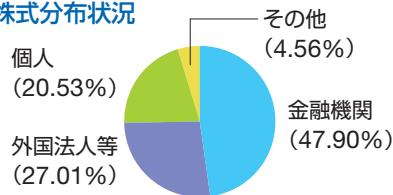
電力平準化装置の動作

発行可能株式総数…………… 560,000 千株
 発行済株式の総数…………… 252,331 千株
 資本金…………… 230億62百万円
 株主数…………… 23,173 名

大株主(上位10名)	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,285 千株	7.65%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,817 千株	5.88%
株式会社みずほコーポレート銀行	9,473 千株	3.76%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.16%
明治安田生命保険相互会社	7,967 千株	3.16%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.53%
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	4,933 千株	1.96%
野村信託銀行株式会社(信託口)	4,426 千株	1.76%
日本生命保険相互会社	4,247 千株	1.69%
株式会社西日本シティ銀行	3,432 千株	1.36%

(注) 持株比率は、自己株式を控除して算定しております。

所有者別株式分布状況



当社株価の推移



(注) 東京証券取引所における月別の高値、安値を表示しています。

取締役会長	利島康司
取締役社長	津田純嗣
取締役副社長	武井紘一
専務取締役	鬼頭正雄
常務取締役	沢俊裕
常務取締役	宇佐見昇
常務取締役	中村公規
取締役	深堀慶憲
取締役	後藤英樹
取締役	小笠原浩
取締役	本松修
取締役	村上周二
取締役	南善勝
取締役	柳瀬重人
取締役	中山裕二
取締役	高宮浩一
常任監査役(常勤)	岩田定廣
監査役(常勤)	市川学
監査役	三井康誠
監査役	石丸誠

会社の概要 (平成22年3月20日現在)

商号 株式会社 安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

設立 大正4年7月16日

従業員 8,176名(連結) 2,778名(個別)

事業所 本社 〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号 電話(093)645-8801
東京支社 〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー 電話(03)5402-4502
名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号 堀内ビル 電話(052)581-2761
大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 新藤田ビル 電話(06)6346-4500
九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号 第7明星ビル 電話(092)714-5331
工場等 八幡西事業所・八幡東事業所・行橋事業所・入間事業所・小倉事業所

主要関連会社

JAPAN

- 株式会社 ワイ・イー・データ
電算機周辺・端末機器の製造・販売並びに
Ontrack(オントラック)データ復旧サービス
- 安川情報システム株式会社
情報の処理提供サービス・ソフトウェア開発並びにシステム機器販売
- 安川コントロール株式会社
電気機械器具及びその部品の製造・販売
- 安川エンジニアリング株式会社
電気機械設備の保全・整備・試運転調整及び技術指導
- 株式会社 安川ロジステック
総合物流事業
- 安川モートル株式会社
電動機、発電機及び電動機応用製品の設計・製造・販売・保全・整備
及び調整

EUROPE

- YASKAWA ELECTRIC EUROPE GmbH (ドイツ)
インバータ・サーボ・コントローラの製造・販売・サービス
- MOTOMAN ROBOTICS EUROPE AB (スウェーデン)
ロボットの販売・サービス
- MOTOMAN ROBOTEC GmbH (ドイツ)
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)
インバータの製造・販売・サービス
- YASKAWA EUROPE TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)
サーボ・コントローラの開発・製造・販売・サービス、ロボットの販売・サービス

ASIA

- YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)
インバータ・サーボ・コントローラ・ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)
インバータ・サーボ・コントローラ・ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC(SHANGHAI) CO., LTD. (中国)
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス
- SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD. (中国)
インバータ・サーボ・コントローラの製造・販売
- SHOUGANG MOTOMAN ROBOT CO.,LTD. (中国)
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス、ロボットのサービス
- MOTOMAN MOTHERSON ROBOTICS LTD. (インド)
ロボットの販売・サービス

AMERICA

- YASKAWA ELECTRIC AMERICA INC. (アメリカ)
インバータ・サーボ・コントローラの製造・販売・サービス
- MOTOMAN INC. (アメリカ)
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA MOTOMAN CANADA, LTD. (カナダ)
インバータ・サーボ・コントローラのサービス、ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL LTDA. (ブラジル)
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス

株主メモ

事業年度	毎年3月21日から 翌年3月20日まで	公告掲載新聞	日本経済新聞
定時株主総会	6月	上場金融商品取引所	東京・福岡
（配当金受領） （株主確定日）	毎年3月20日（期末配当金）	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
	毎年9月20日（中間配当金）		

お知らせ 郵便物送付先・電話お問い合わせ先等に関しましては、下記のとおりとなります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先 電話お問い合わせ先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様あてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することになっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした「配当金計算書」を同封しておりますので、平成23年の確定申告の添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算はお取引の証券会社等にて行われますので、平成23年の確定申告の添付資料としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

ホームページのご案内

右記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。 <http://www.yaskawa.co.jp/>

株式会社 安川電機